

平成18年度 第17回関東高等学校バスケットボール新人大会

平成19年 2月 10日 (土) 会場 ひたちなか市総合運動公園総合体育館

【男子第2回戦】 第1日目 Bコート 第6試合

チームA 船橋市立船橋 千葉	115	30 1Q 17	86	チームB 春日部 埼玉
		28 2Q 22		
		23 3Q 28		
		34 4Q 19		
		OT		

船橋市立船橋

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	フロッグショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	神 佳希	35	1	2	14	22	4	4	4	2	2	4	2	3	2	34
5	岩井 俊憲	5	1	2			2	2	4			3	4	2	4	25
6	三富 修平	6			2	3	2	2	3	2	1	2				17
7	遠藤 祐亮	33	1	2	12	14	6	7	5	1	4	5	1	3	1	37
8	星野 拓海	17	3	13	3	11	2	4	3	3	2	3	2	3		37
9	小出 翼	9	1	1	2	4	2	3	3	2	2	4	2	1	1	26
10	西 信之	8			4	7				2					1	19
11	和田 保彦	2			1	1	2								1	5
12	河合 智平															DNP
13	常世田 政明															DNP
14	實川 一輝															DNP
15	會田 一步															DNP
16	野口 将志															DNP
17	渡部 大樹															DNP
18	鍵富 晃															DNP
コーチ	廣田 誠															
		115	7	20	38	62	18	24	22	12	14	22	9	14	6	200
		確率	35.0%	61.3%	75.0%				計	26						

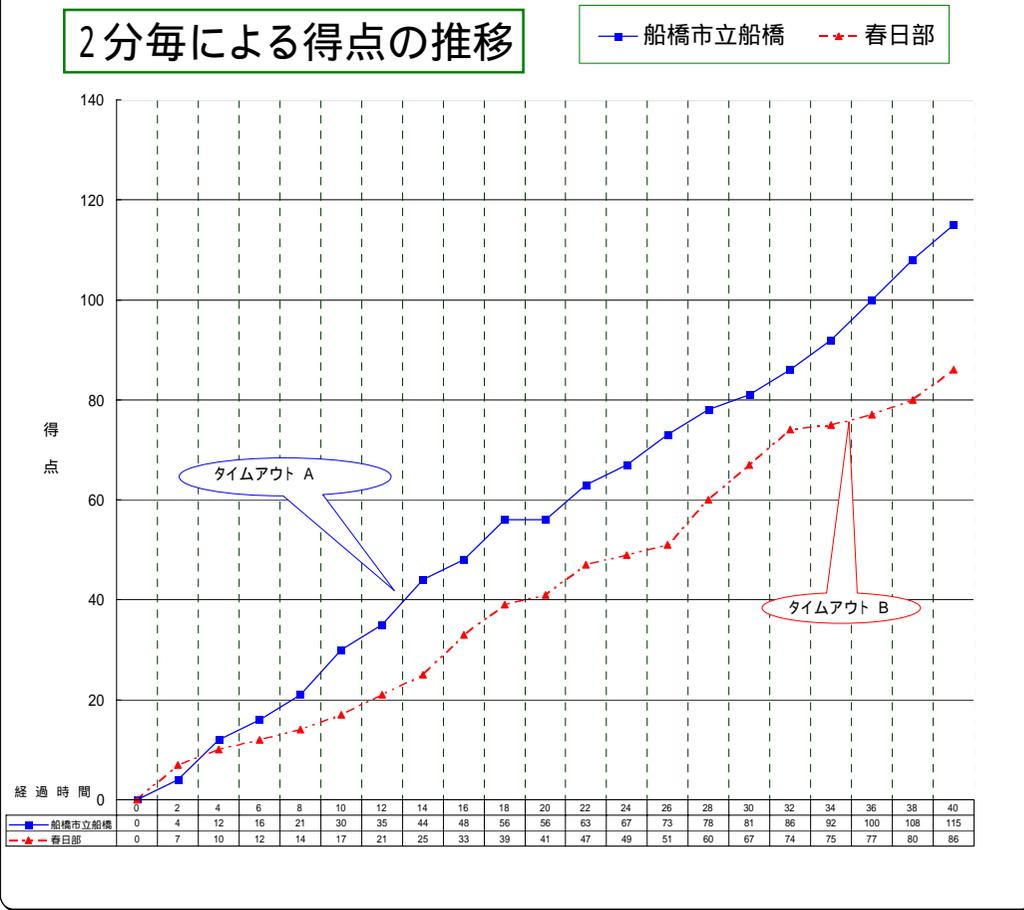
春日部

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	フロッグショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	金子 峻也	36	6	19	7	16	4	4	4	1	1	1	2		1	37
5	橋本 拓実	15		6	5	10	5	8	4	2	4	7	6	1	1	34
6	春本 龍彬	14			7	10			5	1	2	1	1			20
7	徳永 隆三	1		1	1	1	2	4	1	1	1	1	3		1	17
8	大江 隼人	2		2	1	1		1	1	1	1	1				16
9	加藤 良紀			1								1	2			6
10	坂井 亮介								1		1					7
11	齋藤 拓也															DNP
12	米林 正泰															DNP
13	進藤 佳太															DNP
14	白石 健太							1				1				3
15	清水 隆亮	13		1	5	8	3	4	4	4	3	3				25
16	藤森 康平															DNP
17	新田 華武伊	5			2	6	1	1	1	2	7	2	2		1	35
18	川崎 裕介															DNP
コーチ	伊澤 暁															
		86	6	30	27	52	14	19	25	12	20	18	16	1	3	200
		確率	20.0%	51.9%	73.7%				計	32						

スターティングメンバー

出場選手

2分毎による得点の推移



戦評

第1P、両チームハーフコートマンツーマンディフェンスでスタート、序盤動きが重くリズムに乗れない市立船橋に対し、春日部は、#5橋本のドライブイン、#17新田のインサイドなどで得点していく。リズムを掴みかけた春日部であったが、ここで市立船橋#4神が持ち前の得点能力を発揮する。ジャンプシュート、ドライブインなどで連続得点し、第1Pだけで14点を叩き出す。#4神の活躍により一気に春日部を逆転した市立船橋は、これで息を吹き返し、厳しいディフェンスから速攻でたたみかけ、30-17とリードを広げ第1P終了。

第2P、#7遠藤、#4神を中心に加点していく市立船橋。一方春日部は、#4金子の3Pシュート#6春本、#15清水のインサイドなどで得点する。速い展開でリードを広げようとする市立船橋に対し、春日部は残り7分からオールコート1-2-1-1ゾーンプレスをしかける。得点後は、プレスディフェンスの網にかけ連続得点するが、リバウンドを市立船橋にとられディフェンスを仕掛けられないときには速攻で失点してしまい、点差をなかなか縮められない。一進一退の攻防が続き、56-41と市立船橋リードで第2P終了。

第3P、最初にリズムを掴んだのは、市立船橋。#7遠藤のドライブイン、ミドルシュートが次々に決まり、一時は24点差までリードを広げる。一気に試合が決まりかけたが、ここで春日部は粘りを見せる。オールコートゾーンプレスからボールを奪い、#6春本、#15清水のインサイドで連続得点し、市立船橋にくりいつ。81-67と市立船橋リードで第3P終了。

第4P、勢いが出てきた春日部は、この試合36点の活躍を見せた#4金子が3P、ミドルシュートを立て続けに沈め9点差まで詰め寄り、流れはわからなくなる。しかし、ここでまたもや#4神が相手の流れを断ち切る4連続得点。加えて、春日部のゴール下で攻守に活躍していた#6春本がファウルアウトし、残り5分、96-77と19点差まで開いたところで、たまたま春日部がタイムアウト。しかし、市立船橋の勢いを止めることはできず、点差は開いてしまう。最後まで粘った春日部であったが、

主審	山田 健一(茨城)	副審	向井 和宏(東京)	記入者	石津 哲治
----	-----------	----	-----------	-----	-------